

# 岡部中学校学校運営協議会だより

～今年度の主な活動を紹介します～



## 第1回・定例会 5月20日(月)

5月20日(月)、第1回学校運営協議会を開催しました。新たに加わった3名の委員を含む8名の委員に深谷市教育委員会より辞令が手渡されました。委員長は昨年に引き続き小林富治さん、副会長には新井和子さんが選出されました。どうぞよろしくお願いいたします。

協議では、今年度から岡部中学校長となった森田校長から、学校運営方針等についての説明があり、全会一致で承認されました。この他、新年度の生徒の様子や深谷市の取組「立志と忠恕の深谷教育」との関係、「総欠席数を減らす取組」について質疑が行われました。

## 第2回・定例会 11月5日(火)

11月5日(火)、第2回学校運営協議会を開催しました。これまでのメンバーに加え、主任児童委員の小林さん、木本さんが委員に加わり、総勢10名の会となりました。

前回に引き続き、小林富治委員長の進行によりスムーズに協議が行われ、生徒の学習状況や先に行われた部活動新人大会の様子等の報告の後、「不登校の状況と対策」、「いじめ防止等対策委員会の組織改革」、この秋の台風での経験をふまえた「防災マニュアルの見直し」等について協議が行われました。改めて、岡部中学校の生徒が地域で見守られ、その活躍を喜んでくださる方がいることを実感しました。委員の皆様、ありがとうございました。

## 第3回・定例会 学校運営協議会 2月17日(月)

2月17日(月)に開催し、学校長から1年間の教育活動や生徒の様子、学校評価について報告が行われました。また、次年度に向けた改善の方向性が示され、承認いたしました。

その後、校内視察を行い、一昨年新たに設置された調理場でつくられた学校給食を試食しました。

## その他の活動 ……学校応援団・諸団体とともに学校を支える活動……

6月20日(木)・21日(金) 学校総合体育大会深谷市予選 見守り活動(交通指導)

9月14日(土) 岡部中学校体育祭交通整理(交通誘導・駐車場整理)

10月 3日(木)・4日(金) 新人体育大会兼県民総合体育大会深谷市予選 見守り活動(交通指導)

令和元年度 深谷市立岡部中学校 学校運営協議会委員

No.	氏名	所属等	No.	氏名	所属等
1	新井 和子	人権擁護委員	6	沖野 英逸	自治会代表
2	荒瀬 光男	民生児童委員会長	7	小林 富治	学識経験者
3	堀 美佐子	PTA会長	8	森田 豊	岡部中学校長
4	瀧澤恵美子	学校応援団 コーディネーター	9	小林美由紀	主任児童委員
5	宮本 直樹	岡部公民館長	10	木本 典子	主任児童委員

## テーマ：長期欠席・不登校の解消に向けて

今年度、市内小・中学校の長期欠席・不登校生徒数が増加しています。岡部中学校でも増加しているとのことで、第2回定例会で取り上げました。

※「熟議」とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら方針を形成していくこと。

### ～長期欠席生徒・不登校生徒の状況について～

今年度、市内小中学校の長期欠席・不登校生徒数が増加しています。岡部中でも、ここ数年、減少傾向にあった長期欠席・不登校生徒数が増加に転じています。この状況について学校長から報告があり、運営協議会委委員のみなさんで熟議を行いました。ここでは、そのやりとりの一部を紹介します。

#### ●不登校の子どもたちの様子は？

○教室で過ごしているが不安がある、1日教室にいられない、教室に入れない、学校に入れない、家から出られない、自分の部屋から出られない、などの段階があり、それぞれである。

家族や友人と普通に会話し、休日には友達と遠出する子もあるなど、全てが「ひきこもり」でイメージされるような姿ではない。

#### ●学校に来れない子たちの家庭の状況はどうか？

○長期欠席や不登校の状況やその理由は生徒それぞれであり、家庭がこう、保護者がこうという決まった形はない。しかし、保護者への様々なサポートが必要なケースは少なくないので、関係機関と連携して対応している。また、保護者が希望すれば、スクールカウンセラーや教育研究所での相談等が可能で定期的に保護者面談を実施している家庭もある。

#### ●長欠生徒の学力はどうか？

○長期欠席の主な理由として「学力」があげられることは少ない。しかし、学力が高い生徒であっても欠席が長期化すれば学習に遅れが出るのは当然であり、学習が遅れがちであった生徒はなおさら深刻な問題となる。学校では、家庭訪問や放課後登校時に学校の課題プリントを届ける、学校の様子を知らせる週報（学年だより）を届ける等の取組を行っている。また、教室に入れない生徒もステップアップルームで自習活動を行いながら、少しずつ教室での授業に参加しており、8名が利用している。

#### ●地域として取り組めることはないか。

○家庭への支援については、それぞれの委員さんの立場から協力できることがあると思う。しかし、家庭（保護者）が支援を拒むケースもあり、対応が難しい。

○学校以外の場所に保護者が相談したり、不登校の子どもたちがすごせる場があるといい。そういう場を作ろうという動きもあるように聞いている。

○市では「いきいき教室」があり、多くの子どもたちが通っている。今年から夜間部もスタートした。不登校児童生徒の増加に対応し、昼夜逆転の生活等で朝が苦手な子への支援になればという狙いがある。多様な受け皿の一つとして、地域でそうした取組があっても良いのではないかと。

#### ●インターネットやSNSの影響は？

○テレビや新聞を見ていると、インターネットゲームやSNSの影響が大きいのではないかと。

○学校に行かなくても外の世界と通じることができたり、ゲームの中での高揚感や達成感を感じたりと、社会的に未成熟な子どもほどインターネットの世界にはまってしまう。

○不登校の生徒に限ったことではないが、現実にあったことがない子と簡単に「友達」になったり、見ず知らずの人間と安易にやりとりすることで、今回のような（大阪小学生誘拐監禁事件）ことが起きる危険性もある。

※「長期欠席・不登校は、結果としてそういう状態なのであって、その原因も状況も様々であることがわかりました。学校運営協議会としても関心をもって見守っていきたいと思います。」